

ごみ処理施設の建設候補地選定に係るアンケート調査(概要)

小山広域保健衛生組合では、将来の施設整備のあり方について検討を進めており、下野市・小山市・野木町にそれぞれ1施設以上のごみ処理施設（焼却施設、堆肥化施設、容器包装プラスチック圧縮梱包施設、粗大ごみ処理施設などの内1施設以上）を配置するとの方向性が決定しております。このことから、市ではその準備として、新たなごみ処理施設の建設候補地を選定する検討を進めることとし、その基礎資料とするためにアンケートを実施しました。

- 調査対象地区：下野市全域
- 調査対象者：1,500人（20歳以上無作為抽出）
- 調査期間：7月10日から7月31日
- 回収率：44.2%（663人）

回答が多かった上位3つを掲載します

Q：下野市に対するあなたのイメージはどのようなものですか。

災害が少なく、比較的自然的豊かな住みよい市である。
自治医科大学などがあり、医療、福祉が充実している市である。
市内にある3つの駅(石橋駅、自治医大駅、小金井駅)を中心として快適な住環境が整備されている市である。

Q：ごみ処理施設に対して、どのようなイメージをもっていますか。

市民が出すごみを適正処理し、快適な生活環境を維持するために必要なものである。
ごみを資源にリサイクルするなど、循環型の社会づくりに貢献している。
ごみ処理に伴い発生するエネルギーを有効活用することにより、二酸化炭素の発生量を抑制するなど、地球温暖化防止に貢献している。

Q：ごみ処理施設の候補地選定の選定作業について、市はどのように調査を進めていくことが良いと考えますか。

選定結果のみではなく、選定理由も含めて情報公開してほしい。
建設候補地を選ぶ過程(途中段階)で、市民に情報公開してほしい。
建設候補地は市民の土地(財産)を含む内容であることから、市が責任をもって選定してほしい。

Q：下野市内で、ごみ処理施設の建設候補地を検討するに当たり、どのような内容に重点を置いて調査を進めていく必要があるとお考えですか。

生活環境に対し問題がないか。 自然環境に対し問題がないか。
市の将来計画と整合がとれているか。

Q：仮に、あなたのお住まいの近くにごみ処理施設が建設されるとなった場合、あなたはどのように思われますか。

健康への被害がない施設にしてほしい。 生活環境が悪化しない施設にしてほしい。
自然環境が悪化しない施設にしてほしい。

自由意見の中で多かった項目

施設を建設する場所に関する意見
施設の内容に関する意見（下記に具体的内容を示します。）
住民への情報提供に関する意見

施設の内容に関連する意見として多かった自由意見

住宅地から離れた場所を選定する等、健康、生活環境、自然環境に配慮してほしい。
温泉、プール等の余熱利用施設も併せて整備する等、地域還元配慮してほしい。
コスト節減に対する意識をもってほしい。